

チャイルドシート使用率7割

～約6割が取付け不備・使用率は向上～

チャイルドシート使用状況等調査結果



チャイルドシート着用推進
 シンボルマーク
「カチャピョン」

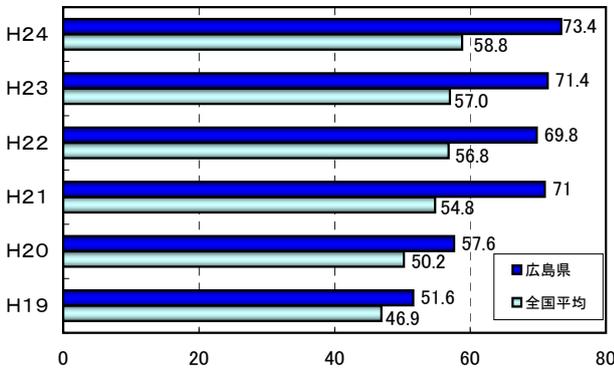
警察庁及び一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が、本年4月20日から30日までの間に実施したチャイルドシート使用状況等の全国調査結果は次のとおりです。(全国100箇所)

使用率

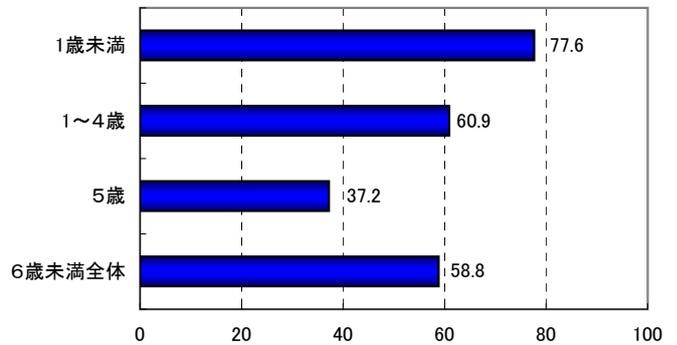
全国平均 58.8%(前年比+1.8ポイント)
 広島県 73.4%(前年比+2.0ポイント)



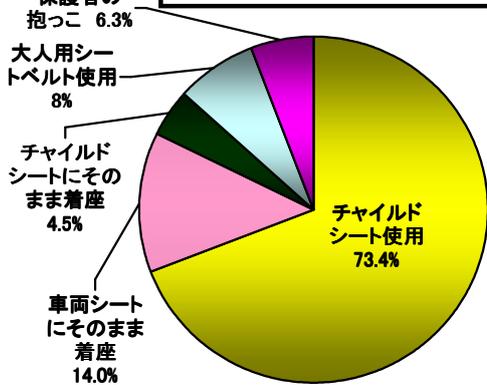
チャイルドシート使用率の推移



年齢層別チャイルドシート使用率(全国平均)



チャイルドシート使用状況(広島県)



取付け・着座状況 (8都道府県・16箇所で調査)

区分	適切な取付け割合	適切な着座割合
乳児用シート	45.7%	69.5%
幼児用シート	35.0%	60.2%
学童用シート	—	76.4%
計	40.3%	68.7%

チャイルドシートを誤った方法で使用している方の殆どが、腰ベルトの締付けやハーネスの高さ調節に不備があります。

チャイルドシート使用有無別の死傷者数(平成23年, 全国統計)

区分	死傷者数		致死率
	死者数	負傷者数	
使用	6人	6,763人	0.08%
不使用	10人	2,495人	0.40%
使用不明	1人	115人	0.86%
合計	17人	9,373人	0.18%

左表は、チャイルドシート不使用の場合、使用の場合に比べて致死率が高いことを示しており、チャイルドシートの使用が交通事故の被害軽減に寄与していることが認められます。

チャイルドシートを使用しない場合の危険性について

- チャイルドシート不使用者の死亡重傷率は使用者の約3.8倍
- チャイルドシート不適正使用者の死亡重傷率は適正使用者の約8.6倍

【チャイルドシート
 使用推進DVD】



県警交通企画課・各警察署で貸出中!